

グリーンボンド / グリーンボンド・プログラム 外部レビューフォーム

セクション 1. 基本情報

発行体名:	株式会社オリエントコーポレーション
グリーンボンド又はフレームワークの名称:	第 21 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（グリーンボンド）
外部レビュー者名:	株式会社 日本格付研究所
本フォーム記入日:	2018 年 12 月 11 日
レビュー公表日:	2018 年 12 月 11 日

セクション 2. レビューの概要

レビュー対象

本レビューでは、以下の要素について審査し、グリーンボンド原則との適合性を確認した。:

- | | |
|--|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> 資金使途 | <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクトの評価と選定プロセス |
| <input checked="" type="checkbox"/> 資金管理 | <input checked="" type="checkbox"/> レポーティング |

ROLE(S) OF Independent External REVIEW PROVIDER

- | | |
|------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> セカンドオピニオン | <input type="checkbox"/> 認証 |
| <input type="checkbox"/> 検証 | <input checked="" type="checkbox"/> スコアリング/格付け |
| <input type="checkbox"/> その他: | |

注: 複数のレビュー、異なる提供者がいる場合、レビューごとに個別のレビューフォームを提供してください。

レビューのサマリー 及び 評価レポート全文への URL リンク

株式会社オリエントコーポレーションは、1954 年創業の信販会社で、個品割賦事業、カード・融資事業、銀行保証事業、決済・保証事業の 4 つの基幹事業を展開している。特にオートローンやショッピングクレジットの取扱高および銀行保証残高は業界トップクラスである。

オリエントコーポレーションは、「わたしたちは信頼関係を大切にし、お客さまの豊かな人生の実現を通じて社会に貢献する企業をめざします。」という基本理念を掲げ、これまでも、積極的な社会貢献および社内における環境への取り組みを中心とした CSR 活動を実施してきている。

今般評価対象となる債券（本社債）は、オリエントコーポレーションが発行する期間 5 年の無担保社債である。本社債の資金使途は、同社の全国の加盟店から個人および法人顧客に提供している太陽光発電システムおよびその付帯設備の設置を目的とした eco ソーラーローンの実行のために調達した資金のリファイナンスを予定している。JCR は、eco ソーラーローンの資金使途が太陽光発電システムまたはその付帯設備であり、省エネ性能の高い設備であることを確認した。対象は、(1) 比較的小規模な太陽光発電システムの設置であるため、深刻な環境への負の影響を及ぼす事態は想定されないこと、(2) 工事が建築基準法にのっとり行われることによって、適切に環境改善効果を発現する蓋然性が高いこと、(3) 実行に際しては、施工中および施工後に関して補償制度を設けていることから、環境面で懸念されるリスクが適切に回避されていることを確認した。したがって、今般の資金使途の対象は、再生可能エネルギープロジェクトとして環境改善に資するグリーンプロジェクトであると JCR は評価している。また、eco ソーラーローンのうち充当対象となる債権について管理体制が構築され、本社債の償還までの期間を通じて確実に対象プロジェクトに充当される体制を整備していること、ならびにオリエントコーポレーションが環境問題を重要な課題と認識し、明確な目標を持って取り組んでいることについても確認した。

以上より、今般評価対象の普通社債について、JCR グリーンボンド評価手法に基づき「グリーン性評価（資金使途）」の予備評価を“g1”「管理・運営体制および透明性評価」の予備評価を“m1”とした。この結果、「JCR グリーンボンド予備評価」を“Green1”とした。本債券は、グリーンボンド原則 および環境省によるグリーンボンドガイドライン において求められる項目について基準を満たしていると考えられる。

評価レポート全文への URL リンクは以下をご参照。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

セクション 3. レビューの詳細

レビュー者は、できる限り以下の情報を、コメントの枠を使用し、できる限り提供することが推奨される。

1. 資金使途

本項目に係るコメント欄:

- a. プロジェクトの環境改善効果について
 - i. 資金使途の 100%が太陽光発電システムおよび付帯設備の設置を目的としたリフォームローンであり、CO2 削減効果が期待される。
 - ii. 資金使途は、ICMA のグリーンボンド原則または環境省のグリーンボンドガイドラインに定義されているグリーンプロジェクトのうち、再生可能エネルギーに該当する
- b. 環境に対する負の影響について
 - 評価の結果、環境への負の影響のある蓋然性は低いと判断した。

GBP における資金使途の分類:

- | | |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 再生可能エネルギー | <input type="checkbox"/> エネルギー効率 |
| <input type="checkbox"/> 汚染防止及び管理 | <input type="checkbox"/> 生物自然資源及び土地利用に係る環境持続型管理 |
| <input type="checkbox"/> 陸上及び水生生物の多様性の保全 | <input type="checkbox"/> クリーン輸送 |
| <input type="checkbox"/> 持続可能な水資源および廃水管理 | <input type="checkbox"/> 気候変動への対応 |
| <input type="checkbox"/> 高環境効率商品、環境適応商品、環境に配慮した生産技術及びプロセス | <input type="checkbox"/> グリーンビルディング |
| <input type="checkbox"/> 発行時点では明らかでなかったが、現時点において GBP 分類に該当することが予想される、または、まだ GBP 分類に含まれていないが適格グリーンプロジェクト分野と思われるもの | <input type="checkbox"/> その他 |

GBP 以外のタクソノミー(プロジェクト分類)を使用している場合はそれを特定すること。:

2. プロジェクトの評価と選定プロセス

本項目に係るコメント欄:

オリエントコーポレーションは資金使途について、明確な環境面での目標、プロジェクトの選定基準およびプロセスを定めている。

当該事項は、JCR による評価レポートの中で開示されている。

評価と選定

- | | |
|---|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 発行体の環境面での持続可能性に係る目標が定められている | <input checked="" type="checkbox"/> 対象事業が選定基準分類に適合していることを決定するプロセスが文書化されている |
| <input checked="" type="checkbox"/> グリーンボンドの資金使途としての適格プロジェクト基準が定義され、透明性が確保されている | <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施に伴う ESG リスクの可能性が特定され、管理されるプロセスが文書化されている |
| <input checked="" type="checkbox"/> 事業の評価と選定基準の概要が公表されている | <input type="checkbox"/> その他 |

責任及びアカウンタビリティに係る情報

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 評価・選定基準は外部からのアドバイスまた | <input checked="" type="checkbox"/> 社内で評価している |
|---|---|

は検証を受けている

その他

3. 調達資金の管理

本項目に係るコメント欄:

本社債の発行代わり金は、オリエントコーポレーションによって実行されたグリーンリフォームローンの実行のために調達した資金のリファイナンス（コマーシャル・ペーパーの償還）を用途としており、これ以外の目的に充当される予定はない。

本社債の発行代わり金は本社債専用の口座に入金され、1 月末までに財務部の担当者によりコマーシャル・ペーパーの償還に充当される。一方で、オリエントコーポレーションは、本社債が償還されるまでの間、あらかじめ定められた適格基準を満たすグリーンリフォームローンを実行した金額である 50 億円を超えるよう社内のシステムを用いて抽出し（抽出されたグリーンリフォームローンを「グリーンリフォームローンプール」という）分別管理を行うこととしている。

分別管理されたグリーンリフォームローンプールは、財務部の担当者が社内システムを用いて月次で残高の管理を行い、財務部長に承認を受けることを予定している。グリーンリフォームローンプールが社債の発行金額を下回る場合には、財務部の担当者により適格基準を満たすグリーンリフォームローンを抽出し、グリーンリフォームローンプールに追加すること、もしくは当該下回った金額に相当する現金を未充当資金として本社債専用の口座に預け入れることが予定されている。

調達資金の追跡管理:

グリーンボンドの調達資金は分別管理され、または適切な方法で発行体によって追跡管理されている。

未充当資金の一時的運用方法について、開示されている。

その他

追加開示事項:

新規投資への充当のみ

既存・新規投資両方への充当

個別の支出に充当

ポートフォリオベースの支出に充当

未充当資金のポートフォリオバランスを開示

その他

既存投資への充当のみ

4. レポーティング

本項目に係るコメント欄:

a. 資金の充当状況に係るレポーティング

本社債により調達した資金は、全額が速やかにコマーシャル・ペーパーの償還に充当されるため、未充当資金にかかる期中のレポーティングは現在のところ想定されない。

b. 環境改善効果に係るレポーティング

資金使途の対象となるグリーンリフォームローンの概要については本評価レポートの評価フェーズ 1 に記載のとおりである。今後、オリエントコーポレーションは年に 1 回、グリーンリフォームローンの対象となる太陽光発電システム等の設置を行ったことによる推定発電量および推定 CO₂ 削減量について、同社のウェブサイト等で定期的な開示を行う予定である。

資金使途のレポーティング:

個別プロジェクト・ベース

プロジェクトのポートフォリオ・ベース

個別債券への紐づけ

その他

レポート情報 :

充当金額

総投資額に占めるグリーンボンドによる資金
充当の割合

その他:

頻度:

年に一度

半年に一度

その他:

インパクトレポート:

個別プロジェクト・ベース

プロジェクトのポートフォリオ・ベース

個別債券への紐づけ

その他

頻度:

年に一度

半年に一度

その他

レポート情報 (理論値または実績値) :

GHG 排出量 / 削減量

エネルギー削減量

水使用削減量

その他 ESG 指標

開示方法

財務諸表における公表

サステナビリティレポートにおける公表

アドホック (非定期) 刊行物における公表

その他:

レポートの外部レビュー

資金充当状況及びインパクトレポートが外部レビュー対象

有用なリンク

株式会社オリエントコーポレーションの CSR に係
る取り組み

<https://www.orico.co.jp/company/csr/>

JCR のグリーンボンド評価手法

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

外部レビューを受けた場合、その種類

セカンド・オピニオン

認証

検証

スコアリング/格付け

その他

レビュー提供者: 株式会社 日本格付研究所

公表日: 2018 年 12 月 11 日

ABOUT ROLE(S) OF INDEPENDENT REVIEW PROVIDERS AS DEFINED BY THE GBP

1. **Second Party Opinion:** An institution with environmental expertise, that is independent from the issuer may issue a Second Party Opinion. The institution should be independent from the issuer's adviser for its Green Bond framework, or appropriate procedures, such as information barriers, will have been implemented within the institution to ensure the independence of the Second Party Opinion. It normally entails an assessment of the alignment with the Green Bond Principles. In particular, it can include an assessment of the issuer's overarching objectives, strategy, policy and/or processes relating to environmental sustainability, and an evaluation of the environmental features of the type of projects intended for the Use of Proceeds.
2. **Verification:** An issuer can obtain independent verification against a designated set of criteria, typically pertaining to business processes and/or environmental criteria. Verification may focus on alignment with internal or external standards or claims made by the issuer. Also, evaluation of the environmentally sustainable features of underlying assets may be termed verification and may reference external criteria. Assurance or attestation regarding an issuer's internal tracking method for use of proceeds, allocation of funds from Green Bond proceeds, statement of environmental impact or alignment of reporting with the GBP, may also be termed verification.
3. **Certification:** An issuer can have its Green Bond or associated Green Bond framework or Use of Proceeds certified against a recognised external green standard or label. A standard or label defines specific criteria, and alignment with such criteria is normally tested by qualified, accredited third parties, which may verify consistency with the certification criteria.
4. **Green Bond Scoring/Rating:** An issuer can have its Green Bond, associated Green Bond framework or a key feature such as Use of Proceeds evaluated or assessed by qualified third parties, such as specialised research providers or rating agencies, according to an established scoring/rating methodology. The output may include a focus on environmental performance data, the process relative to the GBP, or another benchmark, such as a 2-degree climate change scenario. Such scoring/rating is distinct from credit ratings, which may nonetheless reflect material environmental risks.